

【報告】

株式会社大塚製薬工場と連携して熱中症予防対策に取り組んでいます。(本部)

国立青少年教育振興機構(以下、機構)は株式会社大塚製薬工場(以下、大塚製薬工場)と連携して熱中症予防対策に取り組んでいます。

施設を利用される方や各種イベントへ参加する皆様が、安全で楽しく活動できるように、機構では職員研修やボランティア養成研修、指導者養成研修等に安全管理に関する内容を取り入れています。熱中症予防対策については、大塚製薬工場より熱中症について専門的な知識を持つスタッフを施設に派遣していただき、熱中症が起こる仕組みや予防・対策についてご講義いただきました。講義の参加者からは「熱中症の具体的な症状を知ったので、今後は自分の体調確認や子供たちの体調もみることが出来る。」(大学生ボランティア)「今回学んだことを活かし、正しい熱中症対策を行うことで子供たちの命と健康を守り、運動においてもベストな状態でパフォーマンスをしてもらえるようにしていきたい。」(中学校教師)「熱中症の度合による手当の仕方や実際の事例からの注意点がとても参考になった。」(施設職員)との感想があり、実践につながる充実した研修であることがうかがえました。

機構は今後も安全で楽しい体験活動ができるよう、大塚製薬工場と連携して熱中症予防対策に取り組んでまいります。

※大塚製薬工場は脱水状態時に水・電解質を補給・維持する効果のある経口補水液の開発を行っています。

— 講義の様子を一部紹介します —



【国立信州高遠青少年自然の家】
「信州高遠ボランティア養成研修」 5/27(日)
講師: 小林 繁 氏
・熱中症の起こり方について、パワーポイントを使って説明している様子(左)と講義を聞いて熱心にメモを取る参加者。(下)



【国立淡路青少年交流の家】
「ボランティア養成セミナー」 6/17(日)
講師: 川本 安紀子 氏
・熱中症が身近で起こることを、参加者に問いかけながら分かりやすいように講義を進めている様子。

【報告】



【国立室戸青少年自然の家】

「職員研修」

6/11(月)

講師:益田 泰治 氏

・施設の利用者が健康で安全に活動できるように職員一同真剣に取り組んでいる様子。

【国立岩手山青少年交流の家】

「ツール・ド・I ☆ B

～夏の7DAYS キャンプ～」 7/29(日)

講師:盛越 琢朗 氏

・自転車で 170 kmを移動する長期キャンプの開始前の安全管理として、参加する子供たちとスタッフに熱中症予防対策について話をする講師と(右)と子供たちの様子。(下)



【国立那須甲子青少年自然の家】

「教員免許状更新講習」 8/10(金)

講師:佐藤 文範 氏

・小・中学校の教員が参加した講義では、その後の感想で学校現場でも大いに活用できるとの感想が聞かれた。